

第1回人間文化研究機構 DH 研究会

DH プラットフォーム nihuBridge の研究活用の可能性

～API 機能を一例として

12/9
金

<概要>

人間文化研究機構（以下、機構）は2022年6月に nihuBridge <https://bridge.nihu.jp/> を公開しました。nihuBridge は、機構が2008年以降公開・開発してきた研究資源共有化システム（nihuINT）による統合検索機能を一部に引き継ぎつつも、研究成果データの蓄積機能や DH (Digital Humanities) 関係リンク情報集約機能、研究者情報の集約・公開機能等を新たに備えました。これにより、機構および連携諸機関が発信する、多様な研究資源情報を共有・活用するためのポータルサイトになりました。今後、さらに DH のプラットフォームとして成長させるべく開発を続けます。

nihuBridge に新たに備えられた機能のひとつとして、API があります。今回の研究会ではこの API の nihuBridge における位置付けや具体的な設計、想定される利用例などをお示しします。その上で、nihuBridge のプラットフォームとしての今後のあり方や DH への貢献について議論します。

nihuBridge の API は、機構から発信する様々なデータの取得を容易にします。このような機械的情報取得手法の共有によって、これまでに公開されてきた多くの研究データから新たな研究や分析を行うことを可能にします。大学院生や新たに DH の研究に取り組もうとする研究者をはじめ、人文科学、情報学等の様々な研究分野の皆様に nihuBridge が活用されることを期待し、本研究会を開催します。

<プログラム>

14:00-14:05 趣旨説明

北岡タマ子（機構 DH 部会／人間文化研究機構本部）

14:05-14:25 nihuBridge のコンセプト

後藤真（機構 DH 部会／国立歴史民俗博物館）

14:25-14:45 nihuBridge のシステム

関野樹（機構 DH 部会／国際日本文化研究センター）

14:45-15:25 nihuBridge API の利用事例

鈴木卓治（機構 DH 部会／国立歴史民俗博物館）

15:30-16:30 ディスカッション 司会：北岡タマ子

宮川創（機構 DH 部会／国立国語研究所）、菊池信彦（機構 DH 部会／国文学研究資料館）、
後藤真、関野樹、鈴木卓治

<日時> 令和4年12月9日（金） 14:00～16:30

（じんもんこん2022第1日目 無料公開セッション）

<実施形態> オンライン（申込者に URL をお知らせします）

<参加費> 無料

（じんもんこんの一般セッションに参加する場合には、種別に応じて参加費が必要です。じんもんこんのサイトから別途参加申し込みをお願いします（有料））

<参加受付> 11月21日(月)からじんもんこんウェブサイト <http://jinmoncom.jp/sympo2022/> で申し込みが可能になります。公開セッションの申し込みページからお申し込みください。

(じんもんこん 2022 に参加される方は別途の申し込みは不要です)

<主催> 大学共同利用機関法人人間文化研究機構 人間文化研究創発センターDH 部会
じんもんこん 2022 実行委員会

<参加申込みに関する連絡先> じんもんこん 2022 実行委員会 (Mail) sympo2022contact@jinmoncom.jp

<企画に関する連絡先> 人間文化研究機構本部 広報・社会連携係
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル 2 階
(TEL) 03-6402-9234 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) koho@nihu.jp

